

**平成24年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 市民自治 部 環境政策 室 みどり公園 課

1. 基本情報

401

施設名	伊丹市立みどりのプラザ		
施設の設置目的	市民に憩いの場を提供するとともに、緑化の啓発及び園芸等の振興により、みどり豊かなまちづくりを推進する		
指定管理者の名称	財団法人 伊丹市公園緑化協会 (団体の住所又は所在地) 伊丹市昆陽1丁目1-2		
選定方法(公募・非公募)及び指定期間	非公募	平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 25 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	利用者数 (単位: 人)	
	指標の意味	年間の施設利用者	
	今年度の目標値	35,000	今年度の実績値 48,181

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H20	H21	H22	H23	H24(上期)	H24(通期)
	来館者数(人)		38,595	34,572	35,482	46,923	44,677	36,180
貸し室稼働率(%)								
講座開催回数(回)		26	25(20)	25(20)	20	25	13	24
講座参加者数(人)		529	457(371)	363(278)	374	374	246	449

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成24年度指定管理者の収支状況 <単位:千円>	計画(通期)		実績(通期)	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	15,150	指定管理委託料	15,150
	事業収入(講座料収入等)	600	事業収入(講座料収入等)	646
	その他		その他	
	合計	15,750	合計	15,796
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	6,827	人件費	6,777
	維持管理経費	7,351	維持管理経費	7,351
	事業等経費	1,572	事業等経費	1,573
	その他		その他	
	合計	15,750	合計	15,701
	<収支差>		<収支差>	
	収入合計-支出合計	0	収入合計-支出合計	95

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		H20	H21	H22	H23	H24	H25
	市の収入		4	6	4	6	4
(内、使用料収入)		4	6	4	6	4	-
市の支出		16,178	15,548	15,266	15,150	15,150	-
(内、指定管理委託料)		16,178	15,548	15,266	15,150	15,150	-
実質経費(歳出-歳入)		16,174	15,542	15,262	15,144	15,146	-

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課意見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	市民が気持ちよく利用してもらえるように、毎朝園内を巡視し不法投棄や不良箇所の点検を実施。問題箇所があれば迅速に対応。修繕は、施設担当課と調整し、対応。備品管理は、台帳を整備、適切に行っている。	A	委託先である荒牧みどり推進協議会と密な連携が取れているため、館内は常時清潔に保たれており、備品等は適正に管理されている。また、補修の必要な箇所についても、迅速に対応し、丁寧な処理が施されている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	管理運営が円滑に行える人員を配置し、防災意識高揚のため定期的な職場会議も実施。緊急時対応の検討と職員研修に努めている。	B	職場会議や日常業務の交替時の伝達も的確に処理されており、円滑に運営されている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	A		A	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急時の連絡体制。AEDの使用法。避難訓練等を定期的に行っている。	B	緊急時の連絡体制が確立され、訓練等も適宜実施されている。
		避難訓練を実施しているか。	A		A	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	人気のある園芸講習会やイベントを企画し、利用者の増員を図るほか、障がい者への配慮は常に心がけ、安心して利用できる施設として、サービス向上に努めている。	A	利用者に対しては、公平な扱いに徹している他、特に障がい者の利用に対しては細かな配慮がなされている。また、青少年の利用に対する相当の努力の跡が見える。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	これまでの実績に基づき年間事業を計画、より効果的な事業展開に努めている。	B	年間の事業計画に基づき、地元NPOの協力を得ながら、適正に運営されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	申請書類の保管や個人情報に関する取り扱いには細心の注意を払い、常に新しい情報提供に努めている。	B	個人情報については細心の注意を払って取り扱っている。また、イベント等もホームページ、市広報等に積極的に紹介している。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	市の施設担当課と調整を密にして、適切な予算管理を行っている。	B	収支計画にもとづき適正に処理されている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			
施設所管課総評	長期にわたり同施設の指定管理者として管理に携わっていることから、管理体制は熟達しており、基本協定書・仕様書の内容に基づき適切な管理運営がなされている。またその一方で、講座・展示等については毎年内容の見直しや、新しい内容を盛り込むことで、受講者・来園者のニーズに応えようとする姿勢がみられる。					

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。「-」＝当該項目での評価対象外。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果の概要

実施の有無	主な回答内容
有り	<p>【アンケート実施時期】平成24年10月1日～10月31日 【回答者数】 38件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか。・・・「はい」92% ・職員の対応はいかがですか。・・・「大変良い」58%・「良い」35% ・講習会・展示等の内容には満足していますか。・・・「大変満足」34%「満足している」50% ・施設を利用してはいかがですか。・・・「大変満足」38%・「満足」56% <p>(自由意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かざりがとてもかわいいです。今度また来たいです。 ・タバコの吸う場所は、もっと端によせた方が良いと思います。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置